



かどろ 報告書

NPO法人 障碍児と共に歩む会

— みんないっしょに —

震災を体験して

◇“誰もが地域で一緒に暮らせること”を主目的に活動してきて13年。障害児の普通高校への挑戦や大学入学等「共に学ぶ教育」の実現や地域医療が動き始めた3年前、あの大地震が起きた。活動拠点だった「つながりの家」も建物ごと全て失うほどの大きな被害を受けた。私たちスタッフのほとんども被災し、一時は会の解散も考えた。

◇しかし、地域で育つか否かで障害児・者を含む家族の避難所生活の明暗を大きく分けた事例がたくさんあった。重い障害があっても、地域の方々に助けられて命をつなげられたり、逆に周りから迷惑に見られて被災した自宅に戻らざるを得なかった家族もいた。

◇改めて“地域とのかかわり”の大切さを知った今だからこそ、微力ながら活動を続けていこうと仲間たちと確認した。当然のことだが、“いろんな人が一緒に生きる”そんな石巻の復興をめざして。



全国の皆さん
ご支援ありがとうございました。



ミュージシャンを目指して



石巻市議会傍聴



平成20年11月20日 パシフィコ横浜
年次大会 表彰 障害児と共に歩む会 受賞式
「社会ボランティア賞」受賞式

02

みんないっしょに
震災を体験して

03

もくじ

04
05

こんな事やってきました
こんな事やっていきます

06
07

スポーツ支援
めざせ 世界大会
スポーツを通して心身共に
成長するアスリートたち

08
09

余暇活動
・視察研修・フリースクール
・クリスマス会・テーブルマナー
・つながりコンサート
・オープンカレッジ

10

新聞で見る 14年の歩み

11

みんなのこえ

12

つながりの家Q&A
会員募集・編集後記



チャリティーバザー

クリスマス
コンサート

ボランティア
講習会

実習生の受け入れ

歯科検診

ガイドブック
作成

音楽会

情報交換

生け花教室

フリースクール

お茶

合宿

カラオケ

着付

スイミング

作品展示会

陸上

ボウリング

映画上映会

遊びの広場

陶芸教室

こんなことを
やってみました

こんなことを
やっています

要望書提出

職場体験

相談事業

ボッチャ



スポーツ
支援

めざせ世界大会

スポーツを通して
心身共に成長する
アスリートたち

ポッチャ

新しく挑戦すること
になったスポーツ
「ポッチャ」

セーブ・ザ・チルドレン
の支援で「ポッチャ」の
道具一式とユニフォーム
などをそろえることが
できました。

“強いチーム”
めざしてがんばるぞ



ボウリング

プレナミヤギを
会場に全8回
のプログラム
と9回目の
記録会を実施



ベテランコーチ
阿部さんと黒須
さんにお世話に
なっています。
これからもよろし
くお願いします。



ファミリーの声

重いボールなので持てないか
と聞いていましたが、持てる
ようになり順番も待てるよう
になりました。

水泳

お世話になっていたプールが震災後に解体され休止になっ
ていましたが新たにミズノスポーツさんのご協力をいただ
きおためし水泳として再開することができました。



ファミリーの声

ポッチャに参加してから
友達もふえ、とても
積極的になりました。

アスリートより

得点の数が
難しかった
けれど
たのしかったー



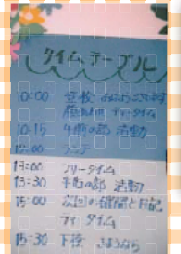
余暇活動



しさと研修



フリースクール



やさしい先生
で〜あ!!

- お料理を作ってみた〜い
- カラオケでうたいたい
- バスで旅行に行きたい
- ホテルに泊まってみたい
- 自分の茶わんを作ってみた
- 着物を着てみたい
- 仙台のデパートでショッピングやランチをした〜い
- キャンプをした
- ギターをひいてみたい
- 映画にも行きたい
- 釣りをしたい 等

みんなのおもいや願いはさまざま
何でも体験してほしい。
何でも挑戦してほしい。
失敗しても大丈夫。
家族だけでなく、友だち同士、
時にはボランティアさんの支援を
受けたりしながら多くの人とつながって
経験を重ねて行こう。

クリスマス会



テーブルマナー

—フォークとナイフを使って—
—ちょっと緊張—



杉本富美子と門下生による

つながりコンサート



杉本富美子先生のご協力のもと10年以上続けた「つながりコンサート」…
小・中学生だった門下生が社会人になり石巻を離れているが、このコンサートの
時だけは必ず参加して下さる方も。
うれしい〜

オープン カレッジ

石巻専修大学を会場に
「人間とゾウリムシの比較生物学」
の講義をうけました。
学生食堂で昼食をとり
学生気分を満喫



音楽療法



陶芸



着付教室



発表会

新聞で見る14年の歩み

(つながり日誌から一部抜粋)

**障害を持つ子供たちが
楽しい学校生活を
送れる環境づくり**

その人らしい生き方を
「障害者も健常者も文えび」

福祉活動のフリースペース
住戸前 旧市長公舎を無償貸与

特別支援教育シンポ開催

障害児と高齢者が交流 花器製作に24人

つながりの家



HP開設し活動発信 「大切なのは親の姿勢」 障害を持つ 相談会で意見交換



障害児の恐怖感 克服へ一歩前進

石巻つながりの家」で初



「つながりの家で笑顔 看護専門学校生2人



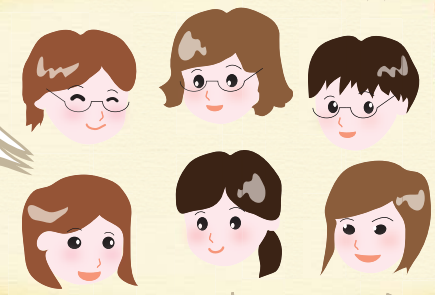
看護学生の時に実習生としてつながりの家でいろいろな体験をさせていただきました。現在は日赤病院で通院してこられた子供さんたちに出会う事もあり、なつかしく楽しく話をさせてもらっています。
～Aさん～



何でもやらせていただきます
～Kさん～

ダウン症の息子の歯科治療で仙台まで通っていました。歩む会主催の「障害児の歯科検診」に行った時、お医者さんもやさしく接してくれてそれ以来地元石巻の歯医者さんに通う事が出来る様になりました。
～Mさん～

地域の老人クラブですがいつも行事に声をかけてもらいたのしい時間をすごすことが出来ました。ニコニコ顔の子どもたちから、いっぱい元気をもらうことが出来ました。
～Sさん～



みんなのこえ

高校を卒業して一般就労をしました。仕事で嫌だなあ～と思う事もありますが給料をもらうと又、頑張ろうと思います。
～Yさん～



支援学級に入学した息子を2年生から普通学級在籍にしました。友達がたくさんできました。そんな姿を見ていると大変な事もありますが、これからも頑張ろうと思います。
～Hさん～



車の免許も取れました。みんなも頑張って～

ボランティアとして参加しています。みんなといっしょに走ったり、書いたり、作ったり、いつもわいわいやっていきます。子供たちから元気をもらい、教えられることもたくさんあります。
～Jさん～



NPO法人 障害児と共に歩む会

Q & A

? 会の目的は?

! どんなに重い障害があっても地域でみんなと一緒に暮らせることを目的としています。

? どうして「^{がい}碍」の字を使ってるの?

! 「碍」は元々石を前に迷っている状態を表し「さまたげ」の意味で「他を害する」という意味ではありません。当会ではさまたげとなっている社会の厚い壁を取り除いていきたいという思いから「碍」の字を使っています。

? 会のこれまでの活動は?

!

- ・スペシャルオリンピックス 宮城・石巻プログラムの立ち上げ
- ・共に学ぶ教育「宮城県障害児将来構想」の推進（平成17年～26年7月）
- ・「障害児・者歯科検診」の拡充
- ・障害児・者余暇活動等

会員募集 連絡先

NPO法人障害児と共に歩む会の趣旨に賛同してくださる方の入会をお待ちしております。

E-mail / tunagarinoie@chorus.ocn.ne.jp
ホームページ / <http://www.ayumukai.org>

・会員

…例会、総会に出席して一緒に会の運営をします。
年会費 ¥2,000

・賛助会員

…会の活動に賛同し、協力します。
年会費 ¥1,000

この活動報告書は

ソニー株式会社・公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
RESTART JAPAN 夢実現プロジェクトの助成金を使わせていただきました。

尚、東日本大震災に際し、

全国の多くの皆様よりたくさんの支援物資、励ましをいただきました事深く感謝いたします。

編集後記

活動報告書作成は今年の春に計画されました。まだまだ時間があると思っているうちにどんどんメ切りがせまって焦るスタッフ。みんなで何度も集まり震災でほとんど失った資料をさがすことからの作業をして完成に至りました。14年間の活動を冊子にまとめながら長い年月をあらためて実感しました。

活動拠点もない状態で不安も大きいですがみんなで力をあわせてこれからも“共生社会”をめざして歩んで行こうと思っています。(H26.8)